

平成25年度菊池市成人式

# 二十歳の誓い

The Oath of the 20 years old

新成人の代表3人が、成人としての誓いの言葉を述べました。



1. 実行委員長の古閑さん 2-11.15.16. 式典を前に晴れやかな表情を見せる新成人たち 12. 恩師からのエールが新成人の胸に刻まれた 13. 式辞に真剣なまなざしを向ける新成人たち 14. 交通安全宣言をする田原さん



Ayana Tsubami  
つばみ あやの  
誓 綾乃さん



Misata Matsumura  
まつむら みさと  
松村美里さん



Tatsuya Ogata  
おがた たつや  
緒方達也さん

## 仲間とふるさとを胸に

二十歳を迎え、一人一人が社会の一員としての自覚を持ち、これからの人生を歩んでいきたいと思えます。

この自然豊かな菊池市に生まれ、私たちを支えてくださった両親や家族、ご指導くださった先生方、そしてあたたかく見守ってくださった地域の人々に育てられて、私たちは今日の日を迎えることができました。これからも感謝の気持ちを忘れることなく、今までしていただいたことを後に続く後輩たちにしていけるような大人になっていきたいと思えます。

これからの長い人生の中で、つらいことや苦しいこともたくさんあると思います。一人では乗り越えられないこともあるかもしれません。そんなときは、共に歩んだ仲間たちやあたたかいふるさとを思い出して、くじけず前に進もうと思えます。今日の決意を忘れず、力強く、たくましく、そして優しく生きていくことを誓い、私の誓いの言葉とさせていただきます。

## 感謝の心を持って

本日は私たちが成人を迎えるに当たり、このように盛大な式典を開いていただき誠にありがとうございます。

私たちは生まれてからこの20年間、たくさんの人々に支えられて生きてきました。共に学び励まし合った友人、あたたかく私たちを見守ってくださった地域の人々、人生の先輩として私たちの良き理解者となって導き教えてくださった先生方、そして、私たちの一番近くで育ててくれた両親など、今まで数えきれないほどたくさんの人々との関わりの中で私たちは成長してきました。ここに集う私たちは新成人としてこれから社会の一員になります。

これまでたくさんの人々に支えられてきたということを忘れずに、これからは一人の大人として常に努力し、何事にも感謝する心を持って、一歩ずつ前進していこうと思えます。以上、私の誓いの言葉とさせていただきます。

## 権利と義務、自由と責任

私たちは成人式という大きな人生の節目を迎えるに当たり、これから変わりゆく社会の中でどのような夢や希望を持って生きていくのかを考える良い機会だと思います。身が引き締まるのを感じます。

また、社会の一員であるということも深く自覚しなければなりません。私たちに、権利と義務、自由と責任があります。権利を主張するなら義務を果たしましょう。自由な言動には責任を持ちましょう。大人になるということ、人と人のつながりを大切に思うこと、世間を知ること、そうすることで心と心のつながりの良さというものが分かってきます。

私は日本や世界の情勢にも目を向け、もっと大きな視点でこの国や世界を捉え、考え、そして行動していきたい、自分の将来をしっかりと見据えて、強い意思を持ってこれから生きていきたいと思えます。今日この感激を私たちの人生に生かし、名実共に成人となることを決意して誓いの言葉とします。

## 成人を祝し大成を祈る

平成25年度菊池市成人式は1月12日、菊池市文化会館大ホールで開催され、576人（男292人、女284人）が新成人となり、大人への一歩を踏み出しました。

実行委員紹介の後、委員長の古閑勇輝さんが「日本を支えていく立場として、私たちが若い力で菊池と日本を元気にしていきたいと思います」とあいさつ。新成人たちの思い出をつづったスライドショーが上映されると、会場から大きな歓声が沸き起こりました。

式典では、安武侑香さんの開式宣言の後、江頭実市長が今日の感動は、多くの人々の支えがあつてこそ。皆さんの成長に関わった大勢の人に感謝の意を伝えていただき「いと式辞。中学校時代の恩師も駆けつけ、「皆さんと過ごした日々を昨日のように覚えていきます。これからは一人の大人として地域に貢献できるように頑張ってください」とエールを送りました。

新成人3人が「二十歳の誓い」を述べ、続けて田原未南さんが交通安全宣言をした後、坂本譲二さんの閉会宣言で幕を閉じました。

その笑顔の輝きが  
未来を明るく照らし続けますように――。

